

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果を報告します！

4月18日(木)に、3年生を対象として行われた全国学力・学習状況調査(以下、全国調査)の結果が、7月下旬に公表されました。今年度は国語と算数、数学の2教科が実施されました。新聞やテレビ等の報道により、報道等すでにご存じのことと思いますが、秋田県は、国語及び算数、数学において、小、中学校ともに今年度も全国平均を上回る結果となりました。中学校では都道府県別で、国語が5位、数学は11位でほぼ全国平均並みということでした。全国の差は縮小傾向にあるようです。

今号では、全国調査の本校の結果をお知らせします。3年生が対象ですが、この結果を全校の傾向として捉えて分析し、今後に生かしていきたいと思っております。

教科の調査結果

教科平均正答率(%)

※ホームページ上の資料では、このグラフは掲載しません。

各教科とも、全国平均、秋田県平均よりも10ポイント程度上回っていて、学習内容の定着状況は良好であると言えます。しかし、次の問いでは、正答率が低く、課題と言えます。

国語…話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く。

表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する。

数学…18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。

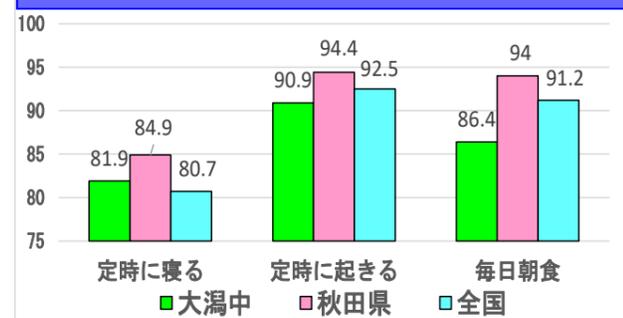
点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する。

国語では、自分の考えを書き表す力、数学では、判断の根拠について数学的表現を用いて説明する力について課題が見られました。各教科において、考えを書く、説明するなど、「思考力・判断力・表現力等」を一層伸ばす授業を展開する必要があります。

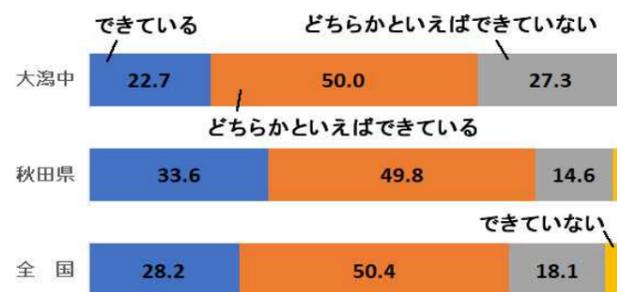
質問紙調査の結果

(1) 基本的な生活習慣や学習習慣等

早寝・早起き・朝ご飯



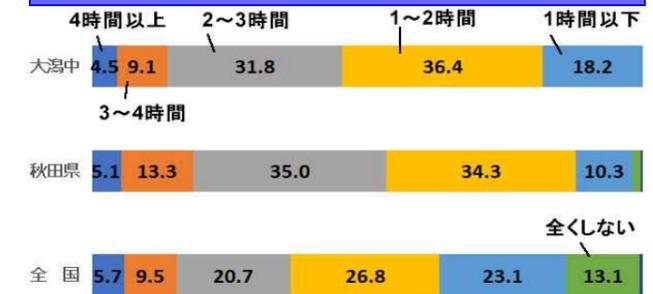
自分で学び方を考え、工夫している



平日の家庭学習時間



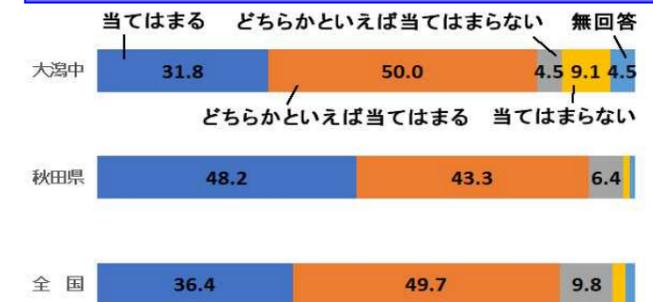
土日、休日の家庭学習時間



新聞を読んでいる



話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広めたりしている



早寝・早起き・朝ご飯の項目は、「決まった時間に寝る」という項目が全国平均を上回りましたが、それ以外は全て県、全国を下回る結果となりました。基本的な生活習慣については、定着していない生徒が2~4名いるようです。

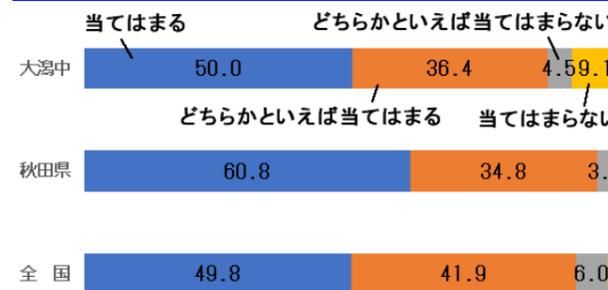
自分で計画を立てて家庭学習をしている生徒の割合は、県、全国と同じような傾向ですが、若干下回る結果となりました。家庭学習の時間は、部活動の練習がある平日は長時間とは言えませんが、土日、休日は全国を上回り、県平均並みの結果となりました。

新聞を読む時間は、県、全国より上回っています。各学級に毎日1部ずつ秋田魁新聞を配付しているの、目に触れる機会が多いと思います。しかし、教室または廊下に新聞が置かれていても、半数以上の生徒が読んでいないというのは残念でした。

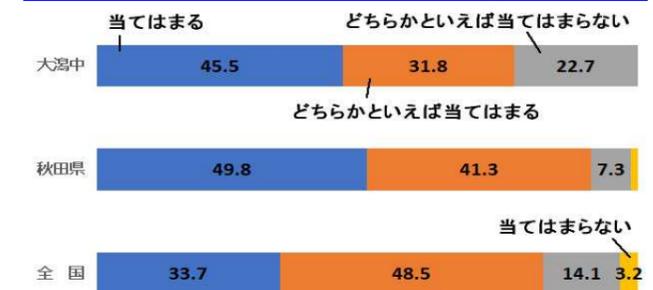
話し合い活動については概ね良好ですが、3~4名の生徒は話し合い活動に消極的な考えをもっているようです。「他者と協働し、新しい価値を創造する力」を高めるよう、授業の中で「協働的な学習」を更に充実させていきたいと思っております。

(2) 道徳、総合的な学習の時間

道徳の授業で自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる



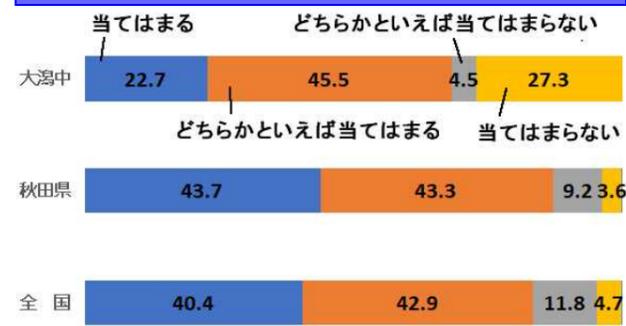
総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる



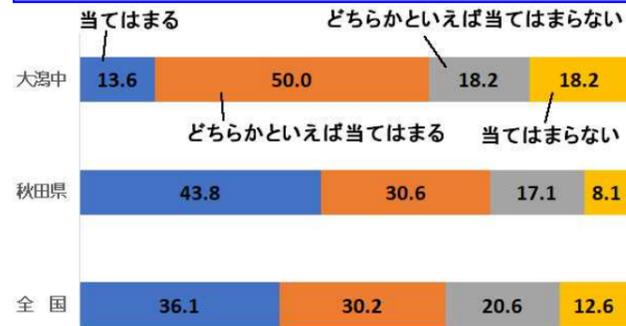
道徳や総合的な学習の時間への取組状況は、ほぼ良好な結果となりましたが、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答する生徒の割合が高くなっていますので、全員の学習意欲を高めるよう、更に授業改善を進める必要があります。

(3) 自分自身について

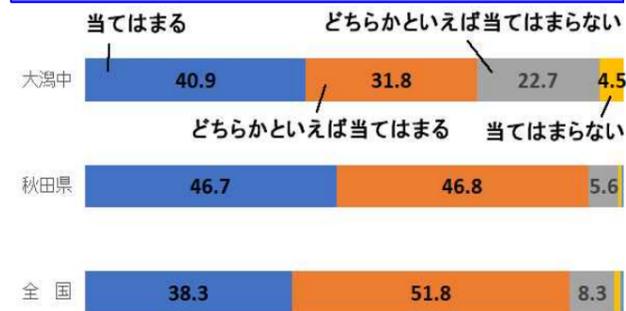
自分には、よいところがある



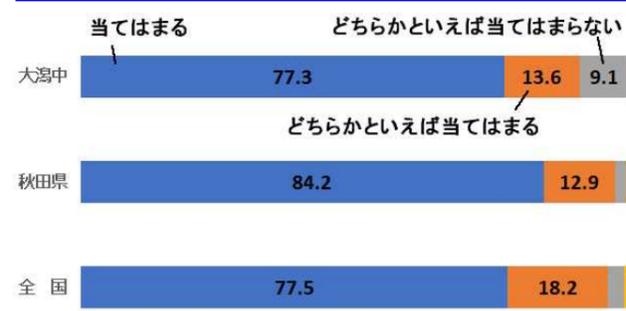
将来の夢や目標をもっている



人が困っているときは進んで助けている



いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う



「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「人が困っているときは進んで助ける」という、自己有用感に関する問いについては、県や全国よりも肯定的な回答の割合が低くなっています。学校生活の様々な場面で、自己有用感の育成を図っていききたいと思います。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」については県や全国とほぼ同様な傾向が見られます。共感的な人間関係づくりを一層推し進めるとともに、道徳科を中心として学校の教育活動全体を通じて「思いやりの心」を育てていききたいと思います。

(5) 目指す人間像について

人の役に立つ人間になりたい



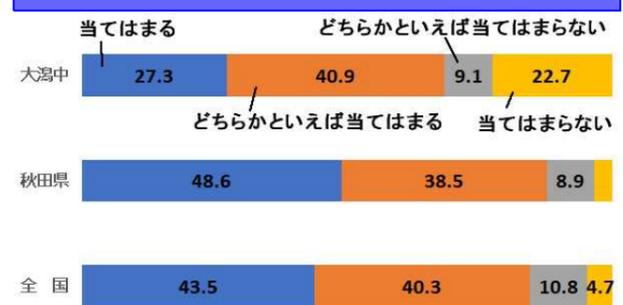
地域や社会をよくするために何かしてみたい



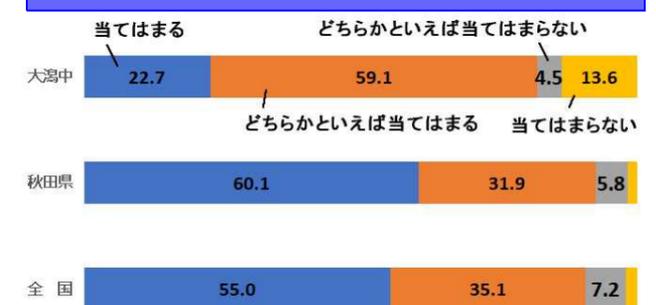
「人の役に立つ人間になりたい」の設問は県や全国と同様な傾向でしたが、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の項目は、否定的な回答が若干多い結果となりました。本校では「地域に根ざしたキャリア教育」に力を入れて取り組んでいますが、より一層地域との関わりを強くし、将来大潟村を支える人材の育成を目指して、家庭、地域の方々と連携してキャリア教育を推進していききたいと思います。

(6) その他

学校に行くのは楽しい



友達関係に満足している



どちらの設問も、肯定的な回答の割合は、県や全国の平均を下回っています。学校が楽しいと思うためには、学級等における人間関係が大きく影響していると考えられます。3年生はこれから自分の進路希望の実現に向けて勉強主体の生活になっていきますが、受験を団体戦と捉え、友達と協力し合って乗り越えていけるよう、支援していききたいと思います。また、否定的な回答をしている生徒には、個別に話を聞く機会を設け、対応していききたいと思います。

今後の取組について

質問紙調査全体を通して、自己有用感が低い生徒の割合が高いように感じます。一人一人の生徒が生き生きと学校生活を送ることができるよう、引き続き学校教育目標「高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成～笑顔と感動のあふれる大潟中～」及び目指す生徒像の具現を目指し、次のように取り組んでいきます。

○自ら学び、表現できる生徒

探究心

まずは基本的学習習慣及び基礎・基本の定着を図ります。その上で、問いを見だし、自分なりの方法で解決することができるよう、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを進めていきます。さらに、既習事項や生活経験を基にして、友達と協働しながら、思考、判断したことを表現する力の育成に取り組みます。



3年 英語の授業でのペア学習

○高い志をもち、凡事を徹底できる生徒

行動力

地域に根ざしたキャリア教育を一層推進し、「夢をもち、将来設計する力」、「自己を肯定的に捉える力」、「粘り強くやり遂げる力」の育成に取り組むとともに、異年齢集団活動などを取り入れ、自己有用感の醸成を図ります。また、何事にも「凡事徹底」を意識して行動することを通して、自分で自分を磨くことができるよう支援していきます。



2年 職場体験学習 生花店

○思いやりの心を持ち、仲間と共に励む生徒

協働性

道徳の授業を一層充実させるとともに、全教育活動を通じて生徒の道徳性を育みます。引き続き、「思いやり」、「郷土愛」、「開拓者精神」の三つの内容項目について重点的に扱います。また、他者とコミュニケーションをとりながら、新しい価値を創造することができるよう、各教科の授業での話し合い活動、総合的な学習の時間や特別活動の充実を図ります。



1年 道徳の授業での話し合い